

～市長ビジョン等の取組状況～

7つの前進ビジョン			
通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和4年度
1	心のバリアフリー。弱者が弱者でなくなる福祉を実現。	障害のある人も普通に働く世の中を。活動・就労促進を援助します。高齢者こそICT導入。家にいながら買い物・各種申請、遠隔医療など応援も。	●子育てや介護に係る申請・届出等を自宅からスマホやPCを利用して行えるよう、環境を構築。 ●障害者自立支援協議会就労部会において福祉的就労説明会を開催。学校卒業後の進路選択の参考にしていただくため、特別支援学校や事業所を紹介。 ●障害者差別解消法に基づく相談対応力向上のため、尾三地区連携で職員研修を実施。 ●障害者差別解消法講演会やパンフレットの配布、広報にしん、図書館での展示やワークショップを通じて、障害への理解を深め、障害者差別解消法の趣旨やヘルプマークの理解促進を推進。 ●地域福祉課及び障害者相談支援センター窓口にてヘルプカード・ヘルプマークを配布。 ●要援護者の避難所生活支援者向けサポートブックを周知。 ●お買い物サポートカードを作成し、市内コンビニやスーパー等へ設置。 ●就労・生活総合支援コーディネーターを障害者福祉センターに配置し、延べ544人に相談・支援を行い、一般就労へ15人移行。 ●NPO法人が開催する高齢者向けパソコン教室の周知について協力し、延べ66人が受講。 ●「セルフメンタルケア」をテーマにこころの健康講座を実施。 ●広報にしんに心の健康に関する記事を掲載。 ●生涯現役就労サポートセンターと連携して、55歳以上の継続雇用や再就職等を希望する方に対して、国家資格キャリアコンサルタントによる出張相談を実施。
2	子育て・教育に関わる皆さんを支援。	保育園の新設・トイレ等改修&小中学校の改修を前進。障がいのある児童を学習面でも支援。医療費助成は「高校生まで」拡充を検討し、県との調整を図ります。 【待機児童「0」ゼロ！】 【高校生医療費「0」ゼロ！】	●18歳到達年度末までの通院費の無償化について、令和6年度実施に向けて検討。 ●新園舎を建設し「幼保連携型認定こども園」に移行する民間保育所（保育所型認定こども園）の工事費に対し補助金を交付し、令和5年4月に、本郷地区において定員を拡大した幼保連携型認定こども園が開園。 ●中部保育園の空調機器（GHP）の更新工事を実施。 ●公立保育園10園の園児用等手洗場を改修し、感染症対策のため蛇口のセンサー化及びシンクを改修。 ●市内在住の医療的ケア児に対し、訪問看護事業所等から派遣される看護師等が、学校において医療的ケアを実施。 ●小学校の特別教室等の空調設備設置工事（9校）、小中学校の図書室空調改修工事（5校）、クラス増に伴う教室改修工事（3校）、外壁（2校）・屋上防水（1校）、エレベーター（1校）改修工事を実施。 ●特別支援教育指導員を配置し、指導主事が行っていた就学相談等を専門に行い、特別支援教育を拡充。 ●特別支援教育に係る人員を適切に配置（学級支援助員・特別支援学級講師・特別支援教育コーディネーター後補充講師の配置）。
3	くるりんばす『倍増計画』に着手！	ルート改編計画の前倒しに直ちに取りかかります。地区「ミニくるりん」運行実験、車輛長寿命化などを研究。手段を駆使して「出かけたくなるバス」に変身！ 【くるりんばす「倍増」！】	●くるりんばすを含めた地域公共交通の利便を増進するための計画を作成。 ●少量輸送の実現に向けてデマンド型交通の実証実験を実施。 ●新たな公共交通の確保のため、スクールバスの活用や自動運転の実証実験を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

4	『防犯カメラ5倍増』渾身の力で安心・安全・快適！	LED防犯灯・カーブミラー・信号矢印・カラー塗装道路の増設、住宅地・通学路を往来する車の減速策、道路・交通網の整備拡大、計画道路の推進、渋滞解消まで全力投球！ 【防犯カメラ「5倍増」！】	●防犯灯を新規に33基設置。 ●防犯カメラを主要幹線道路等（6台）に新規設置。また、設置を検討する区について相談支援し、5地区が令和5年度以降に設置予定。 ●カーブミラーを新規に4本設置。 ●交通事故を未然に防止するため、市内道路にカラー塗装を9箇所、区画線を約2,000m設置。 ●渋滞解消の要望活動を行ってきた国道153号豊田西バイパスについて、中部地方整備局による赤池2丁目交差点の渋滞対策を実施。 ●市道赤池・浅田2号線の赤池2丁目北交差点付近の渋滞解消及び歩行者等の安全確保のため、歩道整備と道路拡幅を行うための用地買収及び物件補償、調査・設計を委託。 ●都市計画道路野方三ツ池公園線の整備に必要な用地買収と物件補償を実施。 ●日進北中学校区内の路肩や交差点のカラー舗装を8箇所実施。 ●日進西中学校区内の交通安全対策に係る実施計画を策定。
5	元気な100歳100人のまちへ。一生懸命働ける高齢者を。	生きがいを持って暮らせるよう高齢者を支援します。「あなたの経験/能力/技を使わなきゃ損！高齢者も稼ぐ」雇用・ボランティア拡大。 【元気な100歳100人！】	●引き続きシルバー人材センターへの支援（補助）を実施。 ●介護支援ボランティア事業で延べ84人が活動し、628ポイントを取得。 ●生活支援サポーター養成講座を実施し、16人に修了証を交付。 ●福祉有償運送ドライバー養成講座を実施し、4人に修了証を交付。 ●高齢者移動支援推進事業のボランティアドライバー養成講座（安全運転講習）を実施し、16人に修了証を交付。 ●生涯現役就労サポートセンターと連携して、55歳以上の継続雇用や再就職等を希望する方に対して、国家資格キャリアコンサルタントによる出張相談を実施。
6	企業誘致・投資促進、広告収入の拡大で財源増。	自らセールスマネージャーとなって「日進市」を売りこみ益す。何を進めるにも財源あってこそ。税収を上げることに必死になります！ 【法人市民税収入「3倍増」！】	●本市での広告掲載実績が無い広告代理店等に、本市の広告事業を案内し、新規の提案を促進。 ●有料広告掲載提案募集制度により提出された広告掲載提案について、導入の可能性を協議し、審査を実施。 ●広報紙裏表紙への広告掲載、公式ホームページトップページへのバナー広告掲載。 ●企業誘致、企業の流出防止及び雇用の維持拡大のため、日進市産業立地促進奨励金交付要綱を制定。 ●東部地区企業団地開発の事業化に向け、相続財産管理人選任申立て、特定不能土地等管理命令申立て等の手続きを進め、課題土地の解消を推進。 ●本市のPRのため、「愛知県産業立地セミナー2022IN東京」に参加。 ●事業用地創出のため、旧日進美化センター跡地を民間企業に売却するため、サウンディング型市場調査を実施し、事業用地の創出を推進。 ●調整池の上部利用（市所有地の有効活用）について、関係課と検討を実施。
7	市の財産を有効活用して外部からの収入を増やします。	インバウンドや観光も視野に入れ、経営トップ経験者ならではの「一手」で市の収入増にもご期待を。	●普通財産（折戸町中ノ狭間）の払い下げを目的として、一般競争入札を実施し、売却契約を締結。 ●ジブリパーク開業を見据えた夜間景観創出等による周遊型観光促進事業を推進。 ●ジブリパーク開園記念「あいち市町村フェア」への出展や、観光マップのリニューアル等、ジブリパーク来場者に向けた告知活動を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進施策

○高齢者も若者も輝くまちに福祉・教育を加速前進

通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和4年度
1		施設間格差は解消しよう！東部、南部福祉会館の建て替え検討に入ります。	●6館全体の有効活用について、各館の特徴や地域性などを把握し、基礎資料とするためのアンケートを実施。
2		医療先端技術 「自宅で簡単がん検査」市民が気軽に利用できるようにしたい。	●がんの早期発見の重要性の啓発やがん検診受診促進のため、啓発物品の設置、個別通知や勧奨通知を実施。 ●新たに企業と包括連携協定を締結し、更なるがん検診の周知強化。 ●がん治療による外見の変化を補うための医療用補装具の購入費用を助成。
3		障がい者就労促進は 民間や大学とのタイアップ も。交渉を積極的に行います。	●尾張東部就業・生活支援センターも加わっている障害者自立支援協議会就労部会において福祉的就労説明会を開催。学校卒業後の進路選択の参考にしていただくため、特別支援学校や事業所紹介を実施。 ●大学連携委託事業及び市民自治活動推進補助事業における関係課からの事業提案とのマッチング募集を継続。
4		経済的に困っている子どもに、必要なコトやモノがいきわたるまちへ。	●新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、「子育て世帯生活支援特別給付金」並びに「にっしん子育て世帯応援給付金」を支給。 ●生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯及び生活困窮状態にある世帯の中学生を対象に学力の向上を目的とした学習支援を行うとともに、子どもやその保護者とコミュニケーションを図り、生活や進学の相談に応じるなど、日常生活への支援や相談支援を行い、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、教育機会の均等及び必要な環境整備を実施。 ●令和5年度からひとり親家庭等の中学生を対象とした学習支援事業の対象児童を小学校高学年まで拡張して継続するための事業者選定を実施。 ●ふるさと納税返礼品について、寄附する寄贈型ふるさと納税を実施。寄附者と、社会貢献活動団体の新たなつながりを構築。 ●全国2名の方から8件（子ども食堂：玄米2件、LIBERAS：米10kg1件、米15kg5件）の寄附を受けた。
5		各地域の福祉会館も利用したシルバースクール充実を図ります。	●健康福祉部内の各課と協議し、大学連携を活用した、フレイル予防のための新規事業「アクティブシニア倶楽部」を開催。 ●福祉会館と連携し、岩崎台・香久山福祉会館で上記のとおり「アクティブシニア倶楽部」を12回開催し、医療専門職の立場から支援。 ●コロナ対策を講じた上で3校にて開校。
6		「転ばぬ先の手すり事業」公共施設に手すりを設置していきます。	●中央福祉センター、福祉情報センター、高齢者生きがい活動センター内に手すり設置済。
7		介護予防は 強い身体づくり 。幾つになってもトレーニングで筋肉は増えます。	●一般介護予防事業（きらきら体操教室44回、にこにこ体操教室9回、健口健食げんき教室3回、お口の元気アップ教室1回）を実施。 ●つどいの場で専門職による指導（5回）を実施するほか、ケアマネジャーによるアセスメント支援のためリハ職同行訪問を試行的に開始。 ●引き続きにっしん体操スポットの新規立ち上げ、継続支援を実施。また、指導者の養成を実施。 ●引き続き高齢者を対象にした健康教育・相談事業を実施。
8		持続可能なまちづくりへ。日進市ESD推進基本方針をさらに積極的に前へ。	●コミュニティ公募提案型事業「にっしんESD事業」を始め、団体、企業と連携したESD講座、ESD普及啓発事業を実施。
9		文化協会、レクリエーション協会、体育協会、スポーツクラブの更なる支援と財団化の検討。	●文化協会、レクリエーション協会、スポーツ協会、スポーツクラブに補助金を交付し、活動を支援。 ●4Wプランに沿って団体を支援。

～市長ビジョン等の取組状況～

10	学校吹奏楽も応援！市民ともっと身近に音楽を。日進を「音楽のまち」に。	●楽器寄附ふると納税を継続的に実施。 ●令和４年度中に５台の楽器寄附を受けた。 ●日進中学校吹奏楽部が開催した演奏会に寄附者を招待。 ●寄附された楽器の修繕を実施。 ●市主催の音楽祭を開催。 ●公共施設を活用したコンサート（音楽アウトリーチ）等に加え、子どもの頃から音楽に触れる機会として、市内小学校９校にて出張演奏（学校音楽アウトリーチ）を実施。 ●音楽による子ども育成事業として、市内在住の学小中高生を対象とした「金管・木管塾」を開講。 ●市民会館に整備した７種類の打楽器を、吹奏楽の練習や発表に活用。
11	何のために勉強？小中学生から『将来のコト』考えよう！ <u>キャリア教育日本一</u> へ。	●各教科や総合的な学習を通じて自らの生き方を考える機会を創出。 ●令和４年度 愛知県キャリアスクールプロジェクト「つなぐ」（中学校）を実施。 ●「日進市未来をつくる子ども条例」の趣旨に則り、キャリア教育の醸成や自己肯定感を高めるため、子ども達が自ら考える企画・運営事業として「こどものまち」や「親子で作るファッションショー」といったキャリア教育推進事業を実施。 ●警察音楽隊員の演奏指導を受けた市内在住の学の中高生が合同ステージに参加でき、子どもたちが警察官や警察音楽隊の仕事を知る機会となるよう「音楽deハローワーク」を開催。
12	小中学生はやっぱり勉強が大切。だから…ＩＣＴ推進も含めて効率良く学べるようサポートします。	●小・中学校に指導者用タブレット端末を配備し、授業に携わる教員がより利活用できるよう環境を整備。 ●学校・保護者間の連絡システム導入に合わせ、小・中学校に管理者用タブレット端末を配備。 ●指導用デジタル教科書を購入。 ●電子図書購入のためのクラウドファンディングを実施し、延べ１０４人から４,０８５,０００円の寄附を受けた。
13	いじめや不登校、虐待から徹底的に子どもを守りたい。（ＬＩＮＥ相談も研究）	●不測の事態に備え、新たな任期で委員を委嘱し、必要な情報を共有。 ●スクールソーシャルワーカーを４中学校区に各１名配置し、教育支援センター、スクールカウンセラー等関係機関（者）との連携を推進。 ●スクールソーシャルワーカーの活動支援のため、専門知識を有するスーパーバイザーによる研修指導等を実施。 ●いじめ等の防止対策の強化策の一つとして、児童生徒のタブレットを活用。 ●子どもにとって相談しやすい環境整備の一環として、市から配布している学習用のタブレットに相談先のアイコンを貼り付け、相談にアクセスしやすい仕組みを構築。
14	先生の負担軽減を第一に、 <u>地域人材活用</u> で部活もやれる。少年野球などクラブチーム運営も手助け。	●部活動指導において、外部講師を活用。 ●西小学校、東小学校、相野山小学校、香久山小学校でプールの授業を民間委託で実施。 ●生涯学習担当と部活動指導者に関する情報共有を実施。 ●日進市スポーツ推進協議会事業として竹の山小学校の児童を対象にサッカー等の基礎から始める「やってみよう教室」を開催。 ●日進市スポーツ推進協議会事業として「部活動支援」を実施。
15	テスト前、集中力が大切だね～図書館の早朝開館＆時間延長の検討。	●コロナ対策を講じた上で利用制限をしながらも、効率的な学習環境の確認、確保を継続。
16	“通学路 リュックの重さで 猫背です”中学校の「置き勉」推進派。	●令和元年度に実施済。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進施策

○活力も、財力もあるまちに元気に前進

通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和4年度
17	人口10万人へ。市街化区域拡大、土地利用できるように。資産価値も高めます。		●日進駅西地区の用途地域及び地区計画の決定に向け、都市計画決定図書の修正など、県等との調整を推進。 ●折戸町の暫定用途地域の解消に向けた地権者の合意収集を推進。 ●赤池町の暫定用途地域について県との調整を推進。 ●赤池駅周辺の再開発に向けた先進事例調査を実施。
18	区画整理事業の新規立ち上げ・事業推進による都市基盤整備は、前進を止めない。		●日進駅西土地区画整理事業において、区画整理事業推進のため補助金を交付するとともに、組合に対する指導監督を実施。 ●（仮称）日進北部土地区画整理事業において、設計図の修正、事業フレームの精査等を実施。 ●日進折戸鎌ヶ寿土地区画整理事業において、組合に対する指導監督を実施。 ●日進赤池箕ノ手土地区画整理事業において、組合に対する指導監督を実施。 ●日進香久山西部土地区画整理事業において、区画整理事業推進のため補助金を交付するとともに、組合に対する指導監督を実施。
19	“Mottainai!” 市内一等地にある調整池→ <u>上部を土地活用</u> で歳入に繋がります。		●調整池上部利用について、民間事業者の意見を取り入れた事業検討を推進するために、サウンディング調査を実施。3社から提案を受けた。
20	ふるさと納税？他市に負けとれん！叡智を集め、劣勢を返上したい！		●本市PRに向け、市事業を返礼品化。 ●寄附しやすい環境を整備するため、新たに3つのポータルサイトを追加。 ●寄附者が事業の目的を選択できるクラウドファンディングを3件実施。 ●チラシを作成し、転出者へ向けたふるさと納税のPRを引き続き実施。 ●楽器寄附、寄贈型ふるさと納税など、関係人口増加に向けた取組を継続。 ●企業版ふるさと納税活用のため、企業へアプローチし2社から計1,200,000円の寄附を受けた。
21	日進初！ホテル誘致を目指します…便利に、同時に税収アップ。		●赤池駅周辺の再開発に向けた先進事例調査の実施や赤池地区へのホテル建設に向けた開発等事業に関する手続条例に基づく調整を実施。 ●宿泊施設の誘致に向け、日進市産業立地促進奨励金交付要綱を制定。 ●社会情勢を見極めつつ、（仮称）日進北部地区土地区画整理事業においてホテル誘致について、引き続き検討を実施。
22	新ビジネスを日進から。チャレンジする人を応援。 <u>起業率、県NO.1</u> を目指して。		●ショートタイムワーク事業の普及促進に向けて、市内企業に加えて県外企業と事業を実施。 ●近隣3市町との創業支援等事業計画に基づき、管内商工会や愛知県信用保証協会と創業支援セミナーを開催。

～市長ビジョン等の取組状況～

23	産官学の連携・協力による全ての市事業を徹底見直しで市民サービス向上へ。	●公民連携を効果的に進めていくためのガイドラインを策定し、市ホームページで公開。 ●既存連携事業者との協力内容を整理し、効果的な連携事業の実施を検討。 ●地域課題の解決等を目指し、新たに連携協定を事業者と締結。 ●提案型大学連携事業の募集を継続し、提案のあった事業を市内で実施。 ●連携協力協定締結大学との協定に基づき、連携事業を推進。 ●にしん観光まちづくり協会に補助金を交付することで、本市の観光まちづくり事業の一部（周遊型観光促進事業、まちミル博覧会等）を外部委託。
24	民間企業の誘致は市内商工業の活性化と同時に一税収増に導けるように。	●企業誘致、企業の流出防止及び雇用の維持拡大のため、日進市産業立地促進奨励金交付要綱を制定。 ●東部地区企業団地開発の事業化に向け、相続財産管理人選任申立て、特定不能土地等管理命令申立て等の手続きを進め、課題土地の解消を図った。 ●本市のPRのため、「愛知県産業立地セミナー2022 I N 東京」に参加。 ●事業用地創出のため、旧日進美化センター跡地を民間企業に売却するため、サウンディング型市場調査を実施し、事業用地を創出。 ●調整池の上部利用（市所有地の有効活用）について、関係課との検討を推進。
25	推進！ 6次産業 。日進産農畜産物の自給率・地産地消率アップを図ります。	●市内農産物の生産を増やすため、農業法人等による農地の集約を支援。 ●日進アグリスクールにおいて、内容、レベルに応じて4つのコースを開催し、「6次産業体験コース」においては、6次産業化の体験、啓発を実施。 ●農事組合法人が新たに行った米作りなどの農業体験プログラムを支援。 ●地元農産物を使用したコンビニ弁当の開発・販売を支援。 ●6次産業化支援事業補助金を活用するなど、地元農産物を使用したスイーツなどの新商品の開発・販路開拓、及びコンビニ、飲食店、洋菓子屋等とのマッチングを支援。 ●市広報等で6次産業化商品のPRを実施。 ●農業、福祉、大学、企業が連携して地元農産物を使った弁当の開発・販売を支援。
26	日進スマートインターチェンジは地元とともに。 ネーミングライツ収入 も検討。	●ネーミングライツを有料広告事業の一環として、制度導入に向けた検討を実施。 ●継続して用地調査等を実施。 ●地域と調整を行い、日進市道の設計を実施。 ●土地所有者を含む地域住民との調整を進め、計画の一部変更を行うなど事業を推進。
27	スマートIC周辺土地活用＝就労・観光促進・税収増の大チャンス！	●継続して用地調査等を実施。 ●地域と調整を行い、日進市道の設計を実施。 ●土地所有者を含む地域住民との調整を進め、計画の一部見直しを行うなど事業を推進。
28	「重点道の駅」で子育てや教育を。みんなハッピーになれる施設へ、計画の前進を止めない！	●事業認定後、地域振興施設等の用地を取得。 ●市道本郷前田北線の擁壁設置工事を実施。 ●施設の設置及び管理に関する条例を制定。 ●指定管理者の選定に向け、募集要領、業務仕様書等を作成。 ●事業の周知を図るため、パンフレットの作成、市広報やデジタルサイネージへの掲載等でPRを実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

29	公共施設の <u>コンセッション</u> （民間に施設の運営権付与、収入で整備）も研究。	●国の講師派遣制度を活用し、講師としてP F I、コンセッションの行政実務専門家を招き、職員向け勉強会を実施。 ●研修等での紹介事例、他市町先進事例を参考に、公共施設の管理・運営に関して効果的・効率的な手法について検討。
30	多彩な個人的人脈も活用！閉店店舗の跡地などに新ビジネス誘致を応援。	●近隣3市町との創業支援等事業計画に基づき、管内商工会や愛知県信用保証協会と創業支援セミナーを開催。
31	われらがまちのために…国会議員・県議会議員とのパイプが重要→関係強化	●学校施設等老朽化に伴う改修・改築について、幅広く交付金対象事業とすること、及び算定割合の引き上げを国に対し要望。 ●道路整備を長期安定的に進めるため、新たな財源の創設や道路関係予算の満額確保を国に対し要望。
32	広域連携、友好自治体との絆、ますます強化。＋自治体の新規友好提携へ前進。	●学校における児童生徒の人権に関わる法的課題に対応するため、スクールロイヤーの設置を協議し、尾三地区内4市町（日進市、豊明市、みよし市、東郷町）での共同配置体制を構築。 ●尾三地区自治体間連携会議において、新たな連携事業、継続検討事業について引き続き協議を実施。 ●友好自治体である木祖村、志摩市との職員研修を実施。 ●木祖村との友好自治体提携30周年を記念した事業を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進施策

○「住みやすいまち」から「住みたいまち」に前進

通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和4年度
33	市の条例・規則は「 <u>人間の尊厳</u> 」にあわせてスピーディーに見直し。		●これまでの取組に加え、法務知識や実務経験を有するアドバイザーへの相談やこれまでに蓄積された相談事例を検索できるサービスを利用できるようにし、原課での例規整備を支援。
34	温かい地域のコミュニティづくり、市民活動、NPO活動を応援します。		●地域振興事業及び活動拠点管理事業補助金を交付。 ●地域集会所建設等事業補助金を交付。 ●区長会を開催。 ●地域支援職員を配置。 ●区加入案内リーフレットの製作配布及び加入促進ポストを設置。 ●市民活動団体の活動啓発を行うため、にしんわいわいフェスティバルを開催。 ●市民自治活動推進補助金の事前相談や実施相談を実施。 ●市民活動団体の中間支援施設として、にぎわい交流館が市民自治活動に関する相談及び支援を実施。 ●「成長ログサービス」の運用が令和5年3月末をもって終了することから、電子親子（母子）健康手帳機能を始め市の子育て関連情報の発信、子育てひよこひろば（LINEオープンチャット）の利用等が可能な新たなデジタルこども手帳「てくてく」を導入し、令和5年4月1日から運用を開始。
35	子育てファミリーに、ワーキングスペースの確保に、空き家の活用を。		●リーフレットをおくやみ窓口や市民課窓口で配布。
36	もっとオシャレなまちへ！オンリーワンの店舗大歓迎で出店誘致に努めます！		●近隣3市町との創業支援等事業計画に基づき、管内商工会や愛知県信用保証協会と創業支援セミナーを開催。 ●より多くの市内のオンリーワン資源を発掘すべく、県の「冷やし旅」キャンペーンを活用して、食品模型のアイデアと共催イベントを行うことで、日進市ならではの独自店舗が継続できるように支援。
37	農のテーマパークを！天白川に「 <u>つりばし歩道橋</u> 」設置を市民と検討。		●田園フロンティアパーク、天白川、近い将来できる道の駅を農というキーワードでつなぎ、広い意味で農のテーマパークを検討。
38	公有地を活用した「みどり豊かな都市公園整備」実現を目指します。（都市公園以外の活用も）		●赤池箕ノ手地区に新たに赤池台東公園（街区公園）を1園整備。
39	市役所や天白川沿いで、オープンカフェや舟を使ったイベントを企画。		●市民と協働で、市民まつり内のイベント等での実施方法について検討。 ●にしん産業まつり「農ふれあいエリア」にて、農協と連携し、地元の旬の農産物や6次産業化商品を販売。 ●日進の農業、食、にぎわいなどの活性化をテーマとしたマルシェの開催を支援。
40	強いまちづくりに前進を止めない。まちづくり専門部署を創設します。		●子育て支援課にこども家庭室家庭相談係を新設し、0歳から18歳までの全ての子どもに対する切れ目のない継続的な支援体制を構築。
41	災害時要支援者対応の取り組みと地域防災・減災力強化を推進。		●大規模災害の発生に備え、日進市災害対策本部設置訓練を実施。 ●学区の地域住民を始め消防団や関係団体と共に、北小学校、日進中学校の2校で避難所開設運営訓練を実施。また、訓練前日には職員を対象とした夜間避難所訓練を実施したほか、iPadを使用して対策本部から各避難所の作業状況等を映像にて確認。 ●民間木造住宅無料耐震診断の実施や耐震改修費補助金を交付。 ●各種耐震関係補助金に関して、代理受領制度を導入。

～市長ビジョン等の取組状況～

42	東部丘陵地など日進の緑地・自然を守り育てたい。	●岩藤区、北新区、五色園区と東部丘陵地西部地区に関する地域座談会を開催するなど、東部丘陵地西部地区における活用方針を検討。 ●東部丘陵地内の岩藤新池において、安全確保、快適性の向上を図るため堤体除草を実施。
43	日進の名物、自慢の品々の研究と創出、普及促進を図ります。	●地元農産物を使用した商品について、ふるさと納税返礼品の手続きを実施。 ●広報にっしんで、季節ごとに伝承料理のレシピを特集記事にて紹介。 ●朝市、伝承料理の講座の開催を支援。 ●日進市産農産物を販売する際に貼るロゴマークシールを大学と協働で作成し、地元農産物のPR、ブランディングを実施。 ●日進特産イチゴ、ブドウ、牛乳などの農業者と6次産業化商品の開発を検討。 ●市内和菓子屋における日進特産もち米「こはるもち」を使用した商品の開発・販売を支援。また、こはるもちを使った商品に貼るロゴマークシールを大学と協働で作成。 ●6次産業化商品を販売するマルシェの開催を支援。 ●「第17回食育推進全国大会inあいち」にて、ブース出展し、伝承料理などのPRを実施。
44	LGB、トランスジェンダーの課題に取り組めます。	●パートナーシップ宣誓制度について、3月より運用開始。 ●リーフレット「性の多様性基本情報」を小学5年生に配布。 ●人権・男女共同参画情報コーナーに、啓発図書を配架。 ●性の多様性に関する職員研修を実施。 ●性の多様性に関するパンフレットを窓口で配布。 ●性の多様性に関する講演・シンポジウム・観劇会を開催。
45	公共物を市民で清掃・塗装「 <u>民カリノペーション</u> 」ウォールアートもやってみよう。	●保育園手洗い改修工事で園児参加事業（工事内容を園児に解りやすく説明）を実施。 ●北小学校の外壁改修工事において、外壁塗装の配色について児童に投票をしてもらい、その結果により塗装を実施。 ●相野山小学校トイレ改修設計業務において、4年生を対象とし、トイレ改修工事がSDGs17項目のどの目標に繋がるのかを児童と一緒に考えるワークショップを実施。 ●南小学校の教室改修において、『現代の墨書（ぼくしよ）を記そう』と題し、学校を代表して6年生全員が、壁紙を貼る前の下地壁に「今一番興味があること」「南小学校の好きなところ」を記載。 ●公園、道路や河川など美しい景観を維持するために活動する団体を支援しており、関係愛護団体68団体に報奨金を交付。
46	利用者の利便性も考慮して常時接続を検討。公共施設のW i F i 化促進。	●本庁舎4階に新たにW i F i 環境を整備。
47	施設の <u>芝生化</u> を進めよう～地域の皆様のご協力とご理解で。	●緑化推進に向けて、公共施設における植樹・植栽等による緑化を推進する他、市民や事業者が行う優良な緑化事業へ経費の一部補助を実施。
48	日進駅周辺をもっと安全に、きれいに、気持ち良く利用したい！	●駅前維持管理業務委託を行い、適切に管理。
49	市民の皆様の要望に応じながら下水道普及率100%に向け、前へ！	●重点アクションプランに基づき、本郷町地内の污水管渠埋設工事を行うとともに、将来工事予定箇所の設計業務を実施。

～市長ビジョン等の取組状況～

65の前進施策

○サプライズ前進&能率アップ前進

通番	ビジョン	内容	取組内容
			令和4年度
50	スポーツ新施設整備！新スポーツの普及、障がい者スポーツの促進と支援も。		●オープン1年が経過した総合運動公園多目的芝生広場でモルック体験交流会を実施し、様々な用途に使用してもらえるよう周知。 ●スポーツ祭で障害者団体に協力いただき、障害者スポーツウエルネス吹矢体験会を実施。
51	はっきよい！市内へ相撲部屋誘致（名古屋場所中）に向け「つっぱ（し）り」ます。		●愛知学院大学と連携し、スポーツ祭で相撲体験会を実施。
52	お困り事即解決「すぐやる課」経験豊かな再任用職員らと俊敏な対応組織実現。		●岩崎城プロジェクションマッピングに関する業務、市民まつりに関する業務及びマイナンバーカードの交付に関する業務について、引き続き、全庁的な連携体制を構築し、職員一丸となり業務を実施。 ●市民協働課に地域支援員（再任用職員）を配置し、行政区や自治会の巡回支援を実施。 ●再任用職員の経験とノウハウを活用するため、庁内の主要部署へ配置。
53	AI・RPA（ロボットによる業務自動化）等の導入・近隣自治体連携の検討。		●AI-OCRの共同購入及びRPAによって新たに10業務を自動化。 ●前年度に引き続き、国民健康保険の所得入力作業及び職員向けの児童手当の事務作業でRPAを活用。
54	市内・庁内全てを歩きます。市役所の全ての課で短期の課長になります。		●市長が各課を積極的に巡回し、職員とのコミュニケーションを図るとともに、各部署の状況及び課題を把握。
55	ほっとカフェ等、地域の集いの場に積極的に顔を出し市民の皆様と会話をします。		●生活支援コーディネーターがつどいの場等へ出向き、会話を通じて地域とのつながりを強化するほか、日常生活圏域ごとの協議体を通じて地域課題の把握や解決に向けたアイデアを共有。
56	市民にメリットがあるよう、名古屋市・豊田市とWIN WINになる積極的連携。		●名古屋市長主催の広域連携研究会に参加し、参加自治体の職員と作成した広域連携に関する自治体向けのアンケートを実施するなど、名古屋市を含む県内自治体との円滑な広域連携を推進。
57	市役所職員⇄民間企業社員の交換留学！市職員の潜在能力向上プロジェクト。		●実務経験者採用を実施し、知識・経験豊かな即戦力として一般行政職2名を採用。 ●防災部門を強化するため、防災に関する知識と経験のある職員を採用。
58	大学生が役所の仕事で経験値UP！アルバイト学生職員&学生消防団。		●将来保育士を目指す学生を会計年度任用職員として、保育園で採用。 ●AED一体型広告を活用し、消防団員募集、防災啓発を実施。 ●作業部会における提案を基に、消防団本部に女性消防団員を規定し、市職員や関連団体等に幅広く周知募集を開始。また、学生を対象とした機能別消防団員について、組織設立に向けて大学訪問などの準備を実施。
59	情報公開の促進+諸会議メンバーに一般市民により多く入っていただきます。		●請求書の提出によらずとも手続きが可能な情報提供による情報開示を積極的に推進するとともに、適切な情報公開制度が継続していくための研修を引き続き実施。 ●市民参加及び市民自治活動条例及び施行規則の運用についての検討を引き続き実施。 ●パブリックコメントの実施状況について、下半期の最新状況について取りまとめてホームページに掲載。

～市長ビジョン等の取組状況～

60	地方公務員は「 知豊向夢員（ちほうこうむいん） 」へ。さらなる市民目線のプロ集団で仕事に励む。	●各種専門研修の他、日進市職員としての知見を広げるため、日進塾を2回開催。
61	旅行規程の見直しで、職員・議員の研修・出張時の移動時間・負担縮減を。	●実施済。
62	日進市のLINEサービスを開始！日進の情報を便利に活用できるようにします。	●実施済。
63	議会での委員会説明職員の削減、市長又は副市長が全議会で委員会出席へ。	●引き続き、委員会の出席説明員を原則、課長以上とした。
64	ペーパーレス・ICT化、予算決算資料の充実、外部監査も推進。	●庁内ネットワークの無線環境整備を拡充（本庁舎1階休憩室・本庁舎3階執務室・北庁舎1階会議室・2階休憩室）。 ●係長以上の自席PCを持ち運びが可能なPCに入れ替え、無線環境と併せてペーパーレス化を推進。 ●令和5年度当初予算書をペーパーレス化。 ●庁舎会議室に電子黒板を導入し、庁内全体として各種会議や研修会等でのペーパーレス化を推進。 ●市役所の複合機を削減し、ペーパーレス化を推進。 ●決算書電子データを公開。 ●支払い業務の効率化に向けて情報担当課と連携し、行財政システムにおける電子決裁化やペーパーレス化など、調査・研究を実施。 ●行財政システムにおける債権者情報の登録について、RPA化・ペーパーレス化を実施。
65	環境・地球温暖化・ごみ問題への取り組みは企業・業界トップレベルを常に研究。	●次期環境基本計画（令和6年度～）の策定に向けて、アンケート調査、ワークショップ（環境リビングラボ）を実施し、附属機関での審議を経て計画骨子案を策定。 ●にしん省エネ倶楽部事業による省エネ行動の普及啓発や地球温暖化対策機器設置費補助事業による再エネ・省エネ機器の普及促進により、CO2排出量削減を推進。また、自動車からのCO2排出量の削減策として、電気自動車等の普及施策について検討・準備を実施。 ●プラスチック資源循環促進法施行に伴う更なる資源化の推進に向け、調査・検討を実施。